

テイクアウト用ボックス & スクーパー

TAKE SCOOP



そのまま、持ち帰ろう。

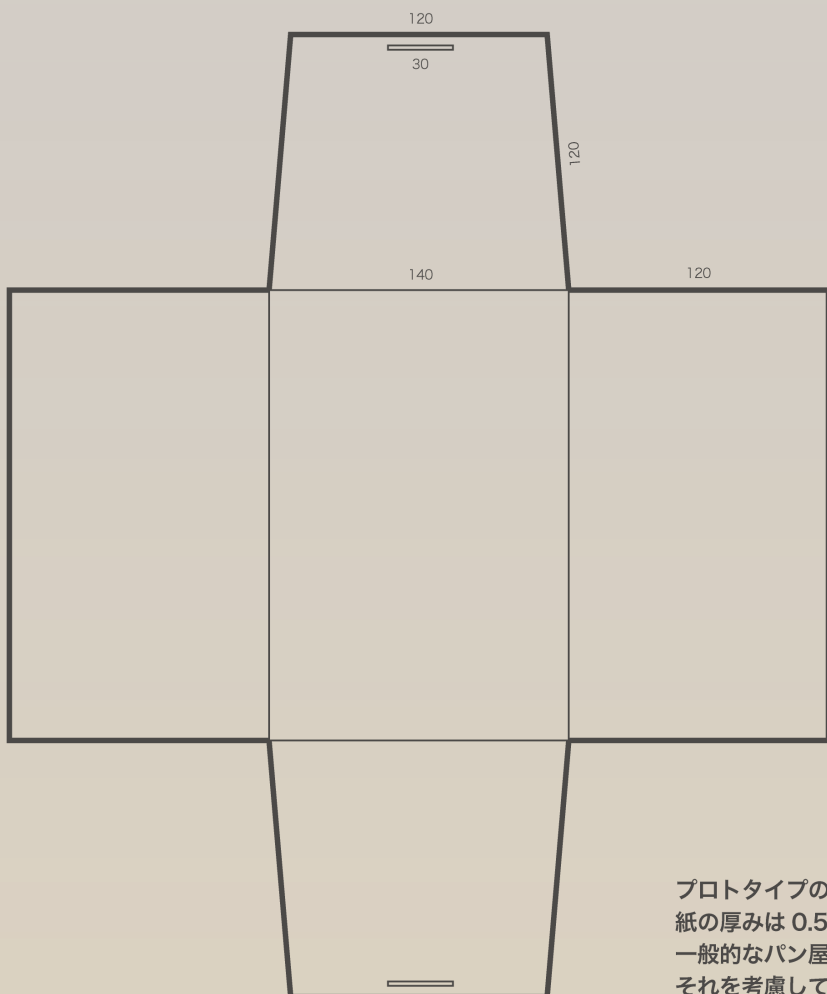
パンのテイクアウト時、他の利用客と共用のトングやトレーを使う場面が数多くある。コロナ禍においてのウイルスの媒介源を減らすため、従来の選べる楽しさを引き継いだ、新形態の個人用使い捨てスクーパー付き厚紙ボックスを考えた。選んだパンを入れるボックスが持ち帰り時にはそのままテイクアウト容器に早変わり。簡易スクーパーはボックスのふたとして使用することができ、資源の無駄をなるべく削減したデザインを目指した。



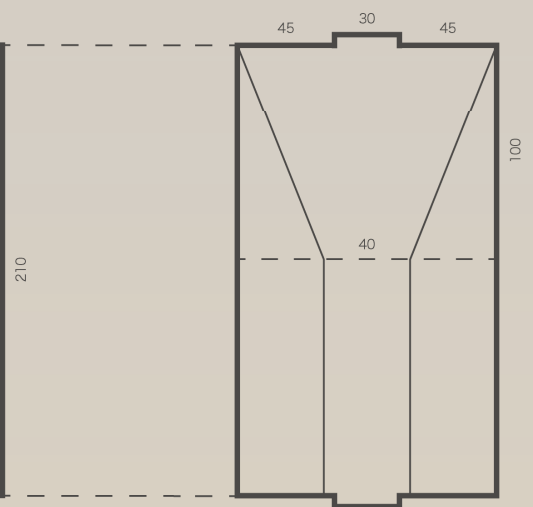
紙なのに、
折れずに持てる。



ボックス



スクーパー



プロトタイプ制作を繰り返し、一番丈夫でシンプルなデザインを採用。
紙の厚みは 0.5mm。
一般的なパン屋に陳列されているパンは 50~150g のものが多く、
それを考慮して 200g ほどの物体は持ち上げられるように形を調整した。

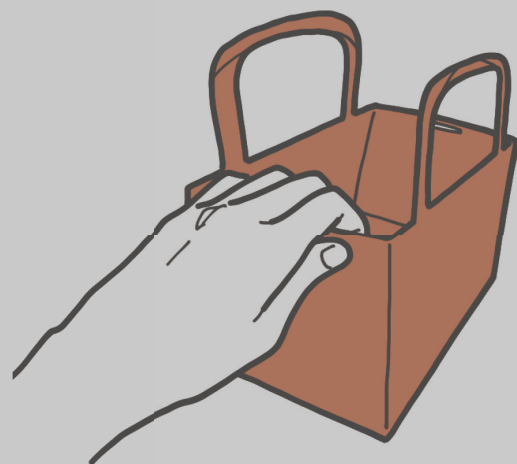
at the Store

店内での使い方

1

ボックスを取る

従来のトレーとトングと同じようにスクーパー入りのボックスを1つ取る。個人用なので他の利用客と共用することもなく、感染経路を少なくすることかできる。
中にスクーパーになる厚紙が入っているので、箱から取り出したのち線に沿って山折りにする。簡単に組み立てられるデザインにしてあるため、サイドからつまむだけで出来上がる。



2

好きなパンを選ぶ

組み立てたスクーパーとボックスを持って、今までと同じように好きなパンを取ろう。
スクーパーは、パンの下に滑り込ませてすくい上げるようにして使用する。しっかりとした厚紙で作られているので、軽いクロワッサンから比較的重めのおんパンまでなんでも持ち上げることができる。また、細長いホットドッグなどもスクーパーの中心軸が空洞になっているので、長さが足りなくなることもなく簡単にすくい上げられる。



3

お会計

パンを選び終えたらレジに持って行こう。
従来の方法と違って、レジでいちいちパンをトレーから袋に移し替える手間が省ける。そのため、よりスマートなレジ作業も実現することができるのだ。



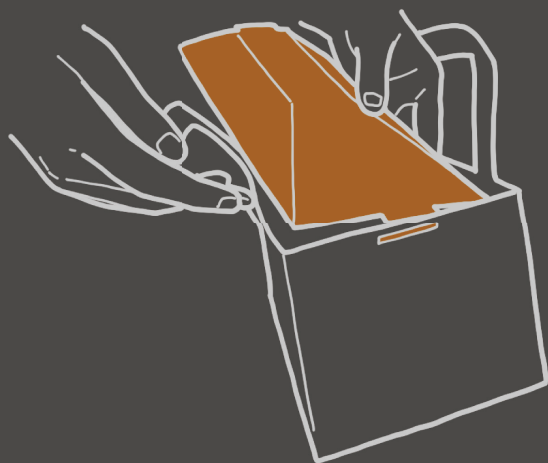
Going home

お持ち帰り時

1

ふたを取り付ける

お会計が済んだら持ち帰りの準備。そのまま持って帰れる便利な仕様なので時短になる。
先ほど使っていたスプーパーは実はボックスのふたに丁度いいサイズ。先端に 5mm ほどでっばった部分があるので、ボックスのサイドの細長い穴に目掛けて挿入する。



2

ふたを固定する

ひとつめの穴に挿し込むことができれば、次は反対側だ。今挿した方が抜けないように気をつけながら、スプーパーの反対側にもでっぱりがあるのでそれをもう片方のサイドの穴に入れる。きちんと通ったことを確認したら、ふた付簡易テイクアウト容器の完成だ。



3

持ち帰る

コロナ禍で変化したもののひとつに、テイクアウト需要が大きくなったということがあげられる。接触を防ぐためにありとあらゆるものがデジタル化していく中、実際に自分の目で見て本当に欲しいひとつを選ぶという動作を大事にしていくために、今回のプロダクトを提案した。
今までの楽しさやワクワク感はそのままだ、感染を防ぐ目的も果たせるよう心がけた。
おうちであなたの選んだパンを味わおう。

